

食農教育活動の一環として、2月9日に二ツ井小学校5年生を対象に、JA女性部二ツ井支部が巻き寿司作り体験を実施しました。使用したお米は、JA青年部二ツ井支部の協力のもと、田植えから稲刈りまで行い収穫したもので、『食と農』を実感できる取り組みとなっております。はじめに女性部員が海苔と酢飯を置くコツや酢飯を広げる手本を見せた後、巻き寿司作りに挑戦しました。色とりどりの具材を使った巻き寿司ができるまで、児童たちがあがり、児童たちは「巻くのは難しかったけど、女性部の先生がやさしく教えてくれたので楽しくできました！」と喜んでいました。



二ツ井小学校5年生が『食と農』に理解を深める
みんなで作ったお米で巻き寿司作りに挑戦



▲巻き寿司を手に女性部員と一緒に記念撮影

伊藤秀司さんの山うどが最優秀賞を受賞
特産品の白神山うどの出来栄を競い合う



▲展示された農家自慢の山うどを見る参加者

収穫最盛期を迎え、山うどは2月20日に行われる「山うど管内農家自慢展」が、伊藤秀司さん(能代市・築法師)が最優秀賞の全農秋田県本部長賞に選ばれました。今年度は刈取り、掘り取り共に順調に推移しました。2月12日の寒気と積雪が交互に、月上の積雪や交互に、の寒気と暖気が交互に、に入ったことで生育・収穫に影響が見られませんでした。しかし、生産者の管理徹底、また芽が多平年よりも大きかったこともあり、3Lが多く収穫され、重量感のある立派な山うどが出荷されています。

○最優秀賞：山崎金作さん(能代市・丑越)
○優秀賞：藤田清樹さん(二ツ井町・白岩悪戸)



申告を迎える時期に合わせ、毎年開催されている講習会には約70名が参加。JA秋田中央会の嘉藤寿大さんを講師に招き、農業経営収支記帳と減価償却の計算について説明が行われました。参加者は説明を聞きながら、自身の経営状況を把握すること、重要な申告への不安点を解消するとともに、今後の農業経営について考えていきました。



農業所得収支内訳書作成講習会を開催
適正な農業所得の申告へ向けて



▲申告へ向け必要事項を確認する参加者

